

鉄砲洲神社素読論語 解説

(平成 24 年 6 月 15 日)

先進第十一

【一一】季路 鬼神に事えんことを問う。子曰く、未だ人に事うることを能わず、焉んぞ能く鬼に事えんと。敢て死を問うと。曰く、未だ生を知らず、焉んぞ死を知らんと。

子路が先祖の霊、天地三世の神にお仕えする時には、どうしたら良いかを孔子に聞きました。孔子が言うには、「私は主君に対してどのように仕えたらかよいかを難しいと思っているのに、どうしてよく先祖の霊に仕える事ができようか」と答えた。さらに子路は死について聞きました。孔子が言うには「私はまだ生きている意味をよく知らない。どうして死の事が分かるものか」と答えた。

【一二】閔子 側 に持す。闇闇如たり。子路、行行如たり。冉有・子貢、侃侃如たり。子 楽しむ。由也の若きは、其の死 然るを得ざらんと。

閔子騫は、顔回の次に徳行が高いと云われている弟子です。孔子より 15 歳若いのです。

孔子の側にいた閔子騫の姿は、ゆったりほどよく見える。子路は、剛直で肩肘を張っているようである。ちなみに子路は孔子より 9 歳若く、弟子の中では最年長。冉有、子貢は和やかな様子である。ちなみに冉有は孔子より 29 歳、子貢は 31 歳若い。孔子はそれらを見て楽しんでた。孔子が言うには、子路は天寿は全うできず、畳の上で死ねないだろうと言った。

現代の国会議員の様子を見れば、それぞれ闇闇如、侃侃如のような人物はいないですね。なかなか畳の上で死ねないと云う様な人物も、議員の中にはないと云う感じがします。

【一三】魯人 長府を為る。閔子騫曰く、旧貫に仍らば之を如何。何ぞ必ずしも改め作らんと。子曰く、夫の人 言わず。言えば必ず中ること有り。

魯の国の人達は金銀貴重な物、そういった物を収める倉庫を作った。閔子騫は「元々あったように作ることはない、使えない部分は修繕すれば良い。何も全部直す必要はない」と言った。孔子は、「閔子騫は普段発言をしないけれども、口を開けば必ず的にあてた、道理があることを適切に言う」と言った。

倉庫を作るというよりは、家を作るという感じです。いったん口を開くと、急所をピシピシとあてると言う様に解釈すれば良いでしょう。その様な発言を、我々も心掛ければ良いでしょう。